

令和元年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版：様式】

1 津山市重点取組

津山市立久米中学校

津山市重点課題	誰が(Who)	何を(What)	いつまでに(When)	どのように(How)	達成される児童・生徒像(数値目標)
学びのサイクル(津山モデル) 授業改善と家庭学習をつなぐ つまずき解消	生徒が	家庭学習で復習を行う	2月までに	家庭学習において時間を確保して自主学習にしっかり取り組む。事前と事後にアンケート調査を実施する。	家庭学習を1時間以上行っている生徒が80%以上
生活習慣の改善 スマホ対策と家庭学習の充実 (児童会・生徒会や家庭等)	生徒と保護者が	勉強以外の時間の使い方を	12月までに	スマホ(ゲーム)の使い方に付いての啓発活動において事前と事後にアンケート調査を実施する。	実施調査でスマホ(ゲーム)の時間を1時間以下の生徒を70%以上

2 全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果及び成果と課題

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>3年 国語・数学は共に全国平均を大きく上回った。英語は全国平均と同程度であった。国語は特に書くことができている。数学は関数40%できていた。英語は書くことが全国平均と比べて低い。</p> <p>2年 国語・数学は少し上回った。英語は少し下回った。昨年よりも国語数学共に結果が良くなった。国語は記述が多少できていない。数学は図形が正答率が低い。英語は書くことが特に低い</p> <p>1年 国語・数学共に少し下回った。国語は書くことの正答率が低い。数学は記述の問題ができていない。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>3年 「自分には、よいところがあると思いますか」は本校生徒の80%が肯定的回答をしている。「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」100%が肯定的回答をしている。85%の生徒が1時間以上家庭学習をしている。</p> <p>2年 「自分には、よいところがあると思いますか」は本校生徒の78%が肯定的回答をしている。67%の生徒が1時間以上家庭学習をしている。38%の生徒が1時間以上スマホ(インターネット)を使っている。68%の生徒がテレビゲームを1時間以上している。</p> <p>1年 「自分には、よいところがあると思いますか」は本校生徒の84%が肯定的回答をしている。69%の生徒が1時間以上家庭学習をしている。29%の生徒が1時間以上スマホ(インターネット)使っている。71%の生徒がテレビゲームを1時間以上している。</p>

成果	課題
<p>国語</p> <p>全体的に全国平均を上回っている設問が多い。特に封筒の書き方を答える問題については全国平均を大きく上回っている。生徒質問紙からも国語の学習を普段の生活に活用しようとしている生徒が多いことがわかる。新学習指導要領にもある実際の社会や生活で生きて働く知識及び技能の育成が進み、生徒たちの「生きる力」を育むことができていると考えられる。</p> <p>数学</p> <p>基本的な計算技能や知識は身につけている生徒が多い。また、全国平均と比較すると表や資料を読み取り、数学的に処理、判断する能力が高いと考えられる。</p> <p>英語</p> <p>英文を読み取り、文脈の中で英語の意味を推測し、把握することができている。また、聞き取りについても同様で英文を聞き、その中で文の概要を把握することができている。</p> <p>学習状況</p> <p>生活習慣の項目については肯定的な回答の割合が非常に高く、学習計画を立て、学習に取り組んでいる生徒が多いことがわかる。また、自己肯定感や自己有用感も高く、校内で取り組んでいる協同学習が効果的に進んでいると考えられる。</p>	<p>国語</p> <p>相手に分かりやすく伝わる表現について考えることに課題がある。また、全国平均を上回っているものの、文章を整理し内容を捉え、自分の考えをもつことにも課題がある。</p> <p>数学</p> <p>一次関数のグラフの問題や図形の証明に課題がある。グラフの読み取りについてはグラフを読み取ることができているものの、読み取った結果が何を表しているのか捉えられていない。</p> <p>英語</p> <p>英語や文法事項等を理解して、正しく文を書くことに課題がある。誤答の傾向から接続詞や英語を適切な形に変換することに課題があると考えられる。また聞き取り問題についても同様で、正確に把握するということが課題がある。これらのことから英語や文法事項等の知識を習得するだけでなく、活用できるように高めていく必要があると考えられる。</p> <p>学習状況</p> <p>1・2年生の家庭学習の時間が不足している。</p>

3 今後の取組

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月末現在)	達成度	達成状況(年度末)	達成度	次年度への改善点・重点課題
1読解力の向上(文章を整理し、内容を捉える) 2文章力の向上(自分の考えをまとめ、相手に伝える文章を書く) 以上2点を踏まえ、2学期末まで各授業における振り返りを実施する。	2学期期末考査	アンケートにおいて	各授業において振り返りの時間を5分程度確保し、生徒自身の言葉で授業の振り返りを書かせる。1時間の中で生徒自身が大切に感じたキーワードなどを使いながら条件(文字や文の数、接続詞の活用)に沿った振り返りが書けるように指導をする。	生徒の肯定的な回答80%以上				
1複雑な文章の理解(Listeningも含め) 2英作文(文法を正しく理解し、正しい英文を書く) 以上の2点を踏まえ、英語の授業を中心に学力向上を図る。	2学期期末考査	全国学テ、県学テの結果より類題の正答率を向上させる。	多くのパターンの問題を提示し、読み解き方を定着させる。また、パターン化した文を覚え、自分の表現したい内容に当てはめたり、活用する練習をSpeakingとWritingで数多く実施する。	80%以上				
家庭学習の定着と充実 小中連携し自主学習ノートに取り組む、さらに内容を充実したものにす。	2学期期末考査	アンケートにおいて	現在行っている取り組みを継続することで自分で考え、学び続ける生徒の育成を目指す。	生徒の肯定的な回答80%以上				

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」 「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」 「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」 「C:目標をある程度達成できた(60%以上70%未満)」 「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上60%未満)」 「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
<p>自主学習ノートの取組を小学校と連携して深めていく。</p> <p>家庭での効果的な時間の使い方を考える取組を行う。</p>	<p>家庭での効果的な時間の使い方を考える取組を学年PTA等で呼びかけていく。</p>